



提供：石岡まちづくりアカデミーⅢ

### 主 な 内 容

- 特集 朝日トンネル開通 P2
- 平成 23 年度決算  
市の財政は健全な状況です P6
- 市内各施設の放射線量 P9
- 「石岡市景観計画」を策定  
景観に配慮したまちづくりを目指して P10
- 平成 25 年度 保育所（園）の新入児受付開始 P18

### やさと温泉ゆりの郷

(小 幡)

小幡にあるやさと温泉ゆりの郷は、眼の前に秀麗な筑波山を望む絶好のロケーションに建っています。

今年 8 月には、朝日トンネル開通に向け、個室や脱衣所、マッサージ室の増築や、露天風呂への寝湯の設置など、リニューアルをしました。

● 問い合わせ

やさと温泉ゆりの郷 ☎ 42-4126

朝日トンネル開通記念

## イベント情報

10日（土）

トンネルウォーク

☎ 閩都市計画課

☎ 23-1111（内線 273）

24日（土）

フラワーパーク無料開放イベント

- ✳️ 地域特産品の販売・催し
- ✳️ 第5回筑波路そば打ち大会
- ✳️ 第7回つくばねしし鍋まつり

☎ 閩商工観光課

☎ 43-1111（内線 1133）

✳️ いしおかサンド新作販売会

☎ 閩地域ブランド推進室

☎ 23-1111（内線 433）

## 11月のイベントカレンダー

開通記念イベントのほかにも、市内ではイベントが開催されます。

4日（日）

第28回いしおか商工祭

☎ 閩石岡商工会議所 ☎ 22-4181

13日（火）

県民の日 フラワーパーク入園料半額

☎ 閩茨城県フラワーパーク ☎ 42-4111

14日（水）～18日（日）

第53回石岡市美術展

☎ 閩生涯学習課 ☎ 43-1111（内線 1234）

18日（日）

第24回柿岡城まつり

☎ 閩石岡市八郷商工会 ☎ 43-0247

毎週土曜日

軽トラ朝市K-マルシェ

☎ 閩農業委員会 ☎ 43-1111（内線 1324）

毎週土・日曜日（11月のみ）

常陸風土記の丘有料ゾーン無料開放

☎ 閩常陸風土記の丘 ☎ 23-3888



トンネルが開通して

石岡市と土浦市をつなぐ朝日トンネルが開通します。これにより、全国的に知名度・魅力度が高いつくば方面からのアクセスが良くなります。これは、石岡市の魅力を広く発信するための大きなチャンスです。  
トンネルの開通をきっかけに、市全体を盛り上げていこうと、11月は市内各施設でイベントを行います。  
開通を記念したイベントに、ぜひお出てください。

## 朝日トンネル概要

・トンネルの長さ

1,784 m（石岡市側 1,052 m）

・事業開始

平成 19 年度

・工事期間

平成 20 年度～平成 24 年度

# 朝日トンネル開通記念 イベントマップ



## 10日(土) トンネルウォーク



トンネルの中を歩こう！

**受付時間**  
午前10時～午後1時30分  
県フラワーパークからバスで、トンネル坑口まで送迎します。事前申し込みなどは不要です。参加を希望する人は、直接フラワーパークにお出でください。

辻いちご団地 \*

県フラワーパーク \*

十三塚果樹団地 \*

国民宿舎 つくばね \*

やさし温泉 ゆりの郷 \*

県畜産センター \*



龍神山

## 24日(土) フラワーパーク無料開放イベント

・地域特産品の販売・催し  
常陸牛の焼肉、つくばしゃもの唐揚げ、地域住民によるもちつき、果物販売、陶芸・木工品販売、キャラクターショーなど

・第5回筑波路そば打ち大会  
石岡市と近隣市町村のそば打ち自慢が集合！おいしいそばを堪能あれ！



・第7回つくばねしし鍋まつり  
地元のおいしいものを食べよう！地元産のしし肉などを味わえます。

・いしおかサンド新作販売会  
「いしおかサンド」完成発表イベントと新作の販売会を行います！いしおかサンドスーパーサポーターで世界的パティシエの辻口博啓さんも登場。その他イベントもあります。



毎週土・日曜日  
有料ゾーン無料開放  
常陸風土記の丘 \*



朝日トンネルの手前に設置するウェルカム看板

「筑波山麓 幸せ体験 朝日トンネル開通記念」  
この「筑波山麓 幸せ体験 朝日トンネル開通記念」という言葉には、様々なイベントを行うことで、ちよつとした幸せをたくさん体験してもらいたい、というおもてなしの思いを込めています。

## 里山のなかでの 体験を

### 朝日里山学校

「都会からのお客さんが最初に言うのは、この場所の景観の素晴らしさ。山に囲まれ、茅葺き民家の残る立派な家並みや、自然豊かな風景のなかで、里山の体験を楽しんでもらいたいですね」そう語ってくれたのは、朝日里山学校の高田所長。



木造校舎を活用した里山学校とそこで働くスタッフ▲

朝日里山学校は、平成16年に廃校になった朝日小学校の木造校舎を活用した体験型の観光施設で、そば打ちや石釜で焼くピザ焼きのほか、稲刈りや陶芸など八郷地区にある資源を生かした体験を楽しむことができます。トンネルが抜けたら、つくば方面からのお客さんが、八郷地区により来やすくなります。来てくれるお客さまに喜んでもらえるよう里山学校では、大豆の栽培といった新たな体験メニューの考案や、自給する野菜の種類を増やす準備をしています。

ここに残る里山の風景は、ここで暮らす人々によって守られてきたもの。手をかけなければ草が生え、木は生い茂ります。里山学校のみなさんは、昭和30年代に建てられた地域の人々の思い出が詰まった校舎だからこそ、自分たちが建物とその周辺の管理をきちんとしなくてはいけないと話してくれました。これからも、お客さんにこの場所の良さを感じてもらい、また来たいと思ってもらうため、地域の人々とともに朝日地区の環境を守っていききたいと考えています。

## 守り、育む

## まちへの誇りが、 まちの魅力に

問い合わせ  
秘書広聴課

☎ 23-1111 (内線 213)

## 継いでいきたい 大切なもの

### 常陸風土記の丘

常陸風土記の丘は、石岡から出土した埋蔵文化財の展示室、復元された古代家屋や移築した江戸時代の茅葺き民家などがあり、歴史を体感できる施設です。



ここには約20棟の茅葺き復元家屋があり、80歳代の親方のもと20・30歳代の2人の若手職員が、茅葺き屋根の葺き替えの技を受け継ぐべく修行しています。職員は、施設内にある茅葺きの手入れはもとより、親方について八郷地区、市外さらには県外の茅葺き屋根の葺き替えに出向き、技の習得に努めています。

八郷地区に約70棟残る茅葺きは、屋根の上や軒の下など装飾性の高い『筑波流』と呼ばれる技が施されています。これは、気候風土に恵まれ経済的に豊かだった場所だったからこそ育まれた技だと言われています。茅、竹、杉の葉、わら、シユロなど身近な素材を巧みに生かしたその技は、最近になって文化的な価値が見いだされてきました。

「葺き替えの仕事に簡単なことなんてありません。茅の並べ方一つでも、間違えれば雨が漏ってしまいますから。難しい仕事ですが、屋根の修復が終わって、住んでいる人によくできたと言われると、やっていて良かったと思いますね」と6年目になる渡辺さんは、語ってくれました。県内の葺き替え職人の高齢化が進んでいる現在、2人の若手職員は、これからの担い手として期待されています。

小美玉市(旧玉里村)から移築した筑波流の茅葺き民家と風土記の丘の職員▶

## 美しい花を、見せたい

フラワーパークは、春と秋のバラのほかにダリア、やまゆり、河津桜、アジサイ、福寿草などが楽しめる花の公園です。

一番の目玉は、2万平方メートルに咲く650品種3万株のバラ。バラを育てるのに一番大変なのは、病気がかからないように気を配ることです。4月に芽が出始めると、黒星病やうどんこ病にならないように注意します。さらに、手作業でバラのまわりに生えた草を抜いたり、次々に花を咲かせるために傷んだ花を摘み取ったり、冬には来年またきれいに咲かせるための剪定作業せんてい。これらの作業は、園芸課のスタッフと作業員さんのおよそ20人でを行っています。

暑さや台風で、バラがダメージを受けてしまったときには、その後の手入れをこまめに行います。多くの人に美しく咲かせた花を見もらうため、日々、手入れに励んでいます。美しいバラを上手に咲かせることができるとき「きれいですね」というお客さんの一言がとても嬉しいと作業員さんは笑顔で語ってくれました。

## 茨城県フラワーパーク

トンネル開通後は、多くの人に来てもらえるよう各観光施設と連携した企画の策定や四季折々の花を楽しむポタシ園や藤棚の新設、来園者センターの改修など新たな環境を作っています。



◀バラ園と手入れをする作業員・園芸課スタッフ



石岡市には、

たくさん魅力があります。

トンネルが開通した今こそ、

伝えていきたい、

石岡市にある豊かな自然と人の魅力。

ここで働く人、暮らす人々の思いが、

このまちの魅力へとつながっていきます。

## お客様に喜ばれるサービスを目指して

やさしと温泉ゆりの郷が、地域住民のふれあいと交流の場としてオープンしてから12年がたちました。現在では、地域住民はもとより近隣市町村、県外のお客さんにも利用されています。

快適に過ごしてもらうため、今年5～8月上旬まで一時閉館をしてリニューアル工事を行い、脱衣所や個室の食事スペースなどを増築しました。再オープン後も、たくさんのお客さんにぎわっています。

ゆりの郷の魅力は、なだらかな稜線をのぞむ露天風呂や地元の農産物を使った料理。山に囲まれたこの場所、訪れた人に豊かな自然を感じながらのんびり過ごしてもらいたいと支配人は話します。お客さんに風景を楽しんでもらえるように、ゆりの郷のスタッフは、建物のまわりに、サツキやゆりなどの花や、ブルーベリーの木などを育てています。

スタッフのみなさんは、お客さんからの「ごちそうさま」おいしかったよ」という一言が、働く励みになっていると語ってくれました。

## ゆりの郷

ゆりの郷では、トンネル開通後もスタッフの笑顔で、お客さんが気持ちよく過ごせる場所となることを目指しています。



◀ゆりの郷の露天風呂とスタッフ

市財政の健全化判断比率等のお知らせ

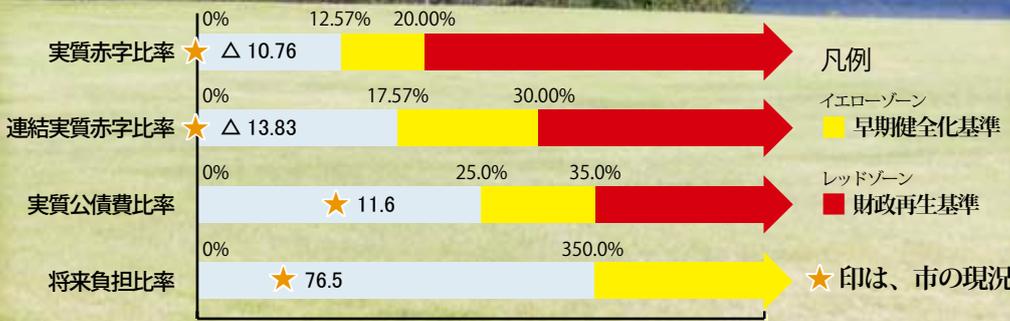
市の財政は健全な状況です

平成19年に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布され、市は財政状況を四つの指標で表すことになりました。

平成23年度決算に基づく石岡市の指標は昨年度に引き続き、いずれも健全な状況を示す数値となりました。

● 問い合わせ  
財政課  
☎23・1111  
(内線234)

平成23年度決算 グラフから見た市の財政健全度



★の位置から、石岡市が基準内にあることがわかります。

四つの指標には、健全化を判断する二つの基準があります。

● 早期健全化基準

比率がイエローゾーンに入ると「財政健全化計画」の策定と公表などが義務づけられます。

● 財政再生基準

比率がレッドゾーンに入ると、市は「財政再生計画」の策定と公表だけでなく、借入れの制限や総務大臣から予算変更などの勧告を受けることもあります。

二つの赤字比率は「なし」

実質赤字比率・連結実質赤字比率は、平成22年度に引き続き、ともに赤字額がなかったため、比率は「なし」となりました。なお、計算上算定される黒字の程度(マイナス値で表示)は、実質赤字比率がマイナス10.76%(22年度はマイナス5.39%)、連結実質赤字比率がマイナス13.83%(22年度はマイナス8.65%)でした。

実質公債費比率は11.6%で基準超えす

石岡市の実質公債費比率は、早期健全化基準を13ポイントほ

ど下回る11.6%(22年度は12.4%)でした。言い換えると「市の一般的な財源のうち11.6%を借り入れの返済(公債費)に充てた」ということとなります。

市が一般財源から借り入れの返済に充てた総額は約41億4000万円でしたが、うち約24億円は地方交付税として措置されるため、実質の充当額は約17億4000万円でした。

実質公債費比率は、21・22年度と同じく早期健全化基準を下回りました。

しかし、公債費については、今後、駅周辺整備や庁舎建設市道整備などにより増加していくことが予想されます。また、人件費や扶助費、公債費のように継続的な支出を必要とする経費が一般財源のうち87.1%という高い割合を占めているため、今回の比率は楽観視できる数値とは言えません。市としては、引き続き経費の節減に向け、努力していきます。

借り入れ等の将来負担は一般財源の約0.8年分

市と一部事務組合が、将来負担することが見込まれる借り入れや債務負担行為などの総額は約553億4000万円ですが、そのうち約297億7000万円は、地方交付税による措置が見込まれます。さらに、その他の基金や特定財源を除いた金額を、市の一般的な財源で割り返した結果、市の将来負担比率は76.5%(22年度は80.1%)となりました。これは「市が将来負

平成23年度決算に基づく市の健全化判断比率

健全化判断比率	石岡市	(単位: %)	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (赤字なし) (参考値△10.76)	12.57	20.00
連結実質赤字比率	- (赤字なし) (参考値△13.83)	17.57	30.00
実質公債費比率	11.6	25.0	35.0
将来負担比率	76.5	350.0	-

実質赤字比率・連結実質赤字比率は、ともに赤字額がないため「-」と表示し、参考値として黒字の程度(比率)を△で示しています。



## 用語の説明

### ●健全化判断比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の総称で、異なった範囲の会計を対象に算定します。

### ●実質赤字比率

市の標準財政規模に占める<sup>※1</sup>普通会計<sup>※2</sup>の赤字額の割合を示します。なお、普通会計が赤字でない場合、この実質赤字比率は「なし」となります。

※1 標準財政規模……標準的な状態で収入が見込まれる一般財源（市税や普通交付税など用途が特定されない財源と、財源不足を補てんするため特例的に認められる地方債の発行可能額の合計）です。

※2 普通会計……各地方自治体の会計の範囲を統一し、統計上の整理、比較を容易にするために総務省が定めた会計区分。23年度の当市の場合、一般会計と授産所・霊園事業の各特別会計を合わせたものになります。

### ●連結実質赤字比率

市の標準財政規模に占める全会計の赤字額の割合を示します。赤字額の考え方と、会計が赤字でない場合に比率が「なし」となるのは、実質赤字比率と同様です。

### ●実質公債費比率

市の標準財政規模に占める、市と市が加入する一部事務組合・広域連合（霞台厚生施設組合や新治地方広域事務組合など）が起こした借り入れの返済額の割合を示し、過去3か年の平均値をその年度の比率とすることになっています。

### ●将来負担比率

市の標準財政規模に占める、普通会計が将来的に負担すると見込まれる、市、一部事務組合・広域連合、地方公社・第三セクター等（市産業文化事業団など）の借り入れ、債務負担などの割合を示します。これは「市が将来負担すると見込まれる借り入れなどの総額は、市の一般的な財源の何年分に当たるか」というもので、比率が100であれば1年分、150であれば1.5年分と言えます。

健全化判断比率とともに算定したものに、公営企業に係る資金不足比率があります。この比率は、事業の規模に対する資金不足額の割合を示すものです。が、当市の公営企業である水道、

資金不足比率は「なし」

担すると見込まれる借り入れなどの総額は、市の一般的な財源の約0・8年分に当たる」ということとなります。  
比率が22年度と比較して3・6ポイント減少した主な要因は、基金を積み増したことや一部事務組合への負担金見込額が減少したことによるものです。

### 平成23年度決算 市公営企業に係る資金不足比率

(単位：%)

事業名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業	－(なし)	20.0
簡易水道事業	－(なし)	20.0
下水道事業	－(なし)	20.0
農業集落排水事業	－(なし)	20.0

簡易水道、下水道、農業集落排水の各事業はいずれも資金不足が生じなかったため、算定結果は表のとおり「なし」となりました。

なぜ、市は地方債を借り入れしているのか

実質公債費比率や将来負担比率は、地方債などの借入金額の大きさが数値の決め手になります。では、なぜ市は借り入れを行うのでしょうか。

市が借り入れを行うことには「長く使用できる施設の整備費用は、次の世代にも負担してもらい、世代間の公平性を確保しよう」という意味があります。30年返済の借り入れをすれば、その年数間に施設を利用する市民が、整備費用を公平に負担することになります。

このような考えのもと、市は「長く使用できる施設の整備費用は、次の世代にも負担してもらい、世代間の公平性を確保しよう」という意味があります。30年返済の借り入れをすれば、その年数間に施設を利用する市民が、整備費用を公平に負担することになります。

財政の健全化に向けて

今回、健全化判断比率等を算定した結果、石岡市の財政状況は「健全段階」にあることが分かりました。今後、駅周辺整備や庁舎整備をはじめ、歳出の増大が見込まれるなど、財政運営は難しい状況にあります。スクラップ・アンド・ビルドを基本とする事業の重点化・効率化

市は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、健全化判断比率・資金不足比率を算定しました。これは、地方財政の早期健全化と分かりやすい財政状況の情報開示などのための比率です。平成23年度決算に基づく各比率の内容をお知らせします。

\*文中、平易な表現とするため、説明を簡略化した箇所等があります。

地方債の多くを施設の建設や道路、下水道、農業集落排水など都市基盤の整備に充ててきました。しかし、家計が厳しいときは、市も一般家庭も同じです。節約をしなければならぬのは、市も一般家庭も同じです。を行うなど、財政の健全化に努力を続けていきます。



# 石岡市の お財布は

市の財政は、金額も大きく、専門用語が多いため、分かりにくいものです。

そこで、平成23年度の石岡市一般会計決算の1億円を家計簿の1万円に置き換え、市の財布をイメージしてみました。

また、市の財政はどのように変わったのか、10年前（平成13年度決算）の状況と比較してみました。



● 問い合わせ  
財政課  
☎ 23・1111  
(内線234)

## 収入



給料（市税）	100万円 (+2)
パート収入 (使用料・負担金など)	16万円 (Δ5)
親からの仕送り (地方交付税・消費税交付金など)	97万円 (+3)
親からの援助 (国庫支出金・県支出金)	67万円 (+38)
ローン借り入れ（市債）	35万円 (±0)
貯金の取り崩し (基金繰入金)	0万円 (Δ8)
前年度からの繰越（繰越金）	14万円 (Δ4)
合計	329万円 (+26)

## 支出



食費（人件費）	54万円 (Δ8)
生活費（物件費）	35万円 (Δ3)
医療費・養育費（扶助費）	55万円 (+32)
家の補修代（維持補修費）	3万円 (±0)
ローンの返済（公債費）	28万円 (Δ2)
自治会費など（補助費など）	20万円 (Δ12)
家の増改築・家電の購入 (普通建設事業費など)	51万円 (Δ14)
貯金（積立金・貸付金など）	16万円 (+11)
子どもへの仕送り (国保・介護・下水道などへの繰出金)	42万円 (+11)
合計	304万円 (+15)

## 貯金とローン残高

貯金残高（基金残高）	78万円 (+20)
ローン残高（市債残高）	271万円 (+2)

※（ ）内は平成13年度との比較です。Δはマイナスを表します。平成13年度の額は、旧石岡市と旧八郷町それぞれの決算額の合計です。  
※ 基金・市債とも、一般会計に係る分の残高です。また、基金からは、定額運用基金を除いています。

### 収入

給料は増えましたが、依然として親からの援助や仕送りに頼っている状態です。自分で確保できる収入は、給料とパート収入を合わせても、3割程度です。

### 支出

10年前と比べて、医療費や子どもへの仕送りが大きく増えています。そのため、家の増改築・家電の購入を控えたこと、自治会費などを少なくすることで赤字にならないようにしています。

### 貯金とローンの残高

貯金を増やしていますが、ローンも増えてしまっています。引き続き、ローン残高の管理が必要です。



10年前と  
比べると